

2013 年度 事業報告

一般財団法人明石コミュニティ創造協会

住民相互の連帯に支えられた、住みやすい地域コミュニティを創造する活動を促進し、人々の生活、福祉、文化の向上に寄与することを目的として、2013 年度も様々な活動を実施しました。地域団体への支援については、モデル事業を中心により地域に深く入り込み、協働のまちづくり推進組織の組織強化支援を行いました。また、2013 年度は、市民活動コーナーの運営、市民活動名鑑「明活」の発刊等により、テーマ型市民活動への支援にも力を入れました。

2013 年度（2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日）の実績は以下に記載のとおりです。

1. 地域団体への支援

(1) モデル事業実施校区

明石市市民協働推進室の協働のまちづくり仕組み構築に係るモデル事業（明石市内 28 小学校区中 3 小学校区、2012(平成 24)年度～2014(平成 26)年度の 3 か年）の実施にあたり、中間支援組織として明石市、地域の双方を支援し、住民との信頼関係の構築、事業の進め方のアドバイスやワークショップの進行等を行いました。また、市民協働推進室へ毎月モデル事業検証調査シートを提出するだけでなく、随時進捗状況を報告・連絡することにより、スムーズに事業を進められるよう意識しています。

①松が丘小学校区

- ・内 容：まちづくり協議会の組織課題を整理するため、プロジェクトチームを発足し、ワークショップを実施するなどサポートしました。地域住民が主体的にまちづくりについて考えていけるように意見交換会の場づくりを行いました。
- ・訪問回数：計 95 回（内訳：会議への出席 35 回、地域への訪問 37 回、来所 19 回、ワークショップ・会議進行 4 回）

②魚住小学校区

- ・内 容：まちづくり協議会の組織強化を効率的に行うため、検討チームの発足を促しました。会議の進行や、アドバイス等のサポートにより、検討チー

ムが主体的にまちづくり協議会広報紙の発行、全世帯アンケートの実施・集計、「魚住小校区のこれからを考える座談会」の開催などを行いました。

- ・訪問回数：計 75 回（内訳：会議への出席 37 回、地域への訪問 30 回、来所 5 回、ワークショップ・会議進行 3 回）

③江井島小学校区

- ・内 容：組織強化を企画検討する「まちづくりプロジェクト」が発足し、月 1 回の会議でサポートし、信頼関係を構築しました。組織課題の解決へ向け、組織再編のスキームづくりのアドバイスを行うなかで、昨年と比べて地域側の組織強化に関する意識が向上しました。
- ・訪問回数：計 55 回（内訳：会議への出席 29 回、地域への訪問 22 回、来所 3 回、会議進行補助回数：1 回）

(2) まちづくり協議会未結成校区

明石市内 28 小学校区のうち、唯一県民交流広場事業を受託せず、校区内がひとつにまとまっていない中崎小学校区では、暫定事務局的な役割を担うことを通じて、互いにゆるやかに連携できる関係づくりを行っており、将来的に「協働のまちづくり推進組織」結成を目指す方向で支援活動を行いました。

①中崎小学校区

- ・内 容：住民同士が互いに知り合い、折り合いがつけられる関係構築のため、意見交換会を開催するほか、交流会や子育て世代を対象にした意見交換会の場を設けるなど、住民同士が対話する場づくりを行いました。開催後は「中崎コレカラ NEWS」を発行し、活動内容の周知と意識啓発に努めています。（A4 版縦・片面 1 枚で作成）
- ・訪問回数：計 59 回（内訳：会議への出席 6 回、地域への訪問 43 回、来所 3 回、ワークショップ・会議進行 7 回）

(3) その他の校区

市民協働推進室や地域側からの依頼により、会議等に参加し、まちづくりに関するアドバイスや、会議進行のサポートを行いました。

①錦が丘小学校区

- ・内 容：住民懇談会開催に関して、その進め方のアドバイス及び当日の進行のサポートをしました。また、他校区の事例等を紹介することにより、協働のまちづくり推進組織に向けた意識啓発を行いました。
- ・回 数：計 11 回（内訳：会議への出席 7 回、地域への訪問 2 回、来所 2 回）

②二見北小学校区

- ・内 容：二見北小学校区は、コミュニティ・センター運営委員会を発展させて、まちづくり協議会へ一本化する方向で動いています。その中で、アドバイスやワークショップの進行等を行いました。
- ・回 数：計 7 回（内訳：会議への出席 3 回、地域への訪問 1 回、来所 2 回、ワークショップの進行 1 回）

③林小学校区

- ・内 容：2013 年度からの「住みよい地域づくり補助金」受託による事業拡充のための企画会議に出席し、アドバイスをしました。
- ・回 数：計 5 回（内訳：会議への出席 2 回、地域への訪問 2 回、来所 1 回）

④王子小学校区

- ・内 容：地域づくり協議会が地域自治を担う中心的な組織となって活動していくことができるよう、住民に向けて、全国の動きや明石市の動き、協働のまちづくり推進組織の意義等の研修を行いました。
- ・回 数：計 6 回（内訳：会議への出席 1 回、地域への訪問 3 回、来所 1 回
研修会 1 回）

(4) 明石市連合自治協議会関連

①明石市連合自治協議会理事会、視察等に参加

- ・内 容：明石市連合自治協議会理事との信頼関係づくりを目的に、明石市連合自治協議会が主催する行事に参加しました。

②モデル事業の進捗状況報告のための広報誌「いまこん通信」発行

- ・内 容：モデル事業の実施状況を他の地域に伝え、意識啓発をすることを目的に、明石市連合自治協議会理事会の開催に合わせて広報誌を発行しました。

- ・ 発刊回数：6回（Vol. 3～8：偶数月発行、A3版横で作成）

③現役会長参加型による「自治会・町内会加入促進マニュアル」の作成

- ・ 内 容：自治会・町内会への加入促進を目的とした実践的なマニュアルを作成しました。明石市連合自治協議会の自治会未加入対策検討部会と内容の検討を行い、市内の自治会長等へのアンケート、ヒアリングを通じて、より具体的な加入促進活動の事例を盛り込むことができました。
- ・ 会議回数：自治会未加入対策検討部会との企画会議 11回
検討部会 11回
その他随時市民協働推進室との打ち合わせを開催

(5) 講師派遣

①コミセン所長研修

- ・ 内 容：コミセン所長への協働のまちづくりに関する意識啓発とスキルアップを目的に、市民協働推進室主催の小学校コミセン所長研修会において、参加型の講座を実施しました。

実施日	テーマ	担当者
5月17日	伝わる広報紙の作り方	阪口 努
6月11日	参加型の考え方	柏木 登起
8月9日	会議の進め方	柏木 登起

(6) まちづくり運動助成

- ・ 内 容：明石市内13中学校区のコミュニティ・センター運営委員会と明石市連合自治協議会に助成をしました。
- ・ 助成団体：朝霧コミュニティ・センター運営委員会
大蔵コミュニティ・センター運営委員会
錦城コミュニティ・センター運営委員会
衣川コミュニティ・センター運営委員会
野々池コミュニティ・センター運営委員会
望海コミュニティ・センター運営委員会
大久保コミュニティ・センター運営委員会
大久保北コミュニティ・センター運営委員会

高丘コミュニティ・センター運営委員会
江井島コミュニティ・センター運営委員会
魚住コミュニティ・センター運営委員会
魚住東コミュニティ・センター運営委員会
二見コミュニティ・センター運営委員会
明石市連合自治協議会

(計 14 団体)

・助成総額：930,000 円

2. テーマ型市民活動への支援

(1) 市民活動コーナー運営

- ・内 容：市民活動に関する相談やコーディネート、広報の支援、助成金情報の提供、団体登録制度の運用、あかし市民活動 WEB でのコーナーの広報と利用促進などを行いました。
- ・登 録 数：80 団体
- ・相談回数：83 回
- ・交 流 会：4 回

(2) 相談業務

- ・内 容：NPO 法人格取得に関する相談、組織運営マネジメントに関する相談、事業の企画・運営に関する相談、助成金申請相談など。
(簡単なコーディネート支援等は含んでいません。)
- ・相談回数：68 回
- ・対象団体：明石プラモデル甲子園 (1 回)、ローンボウルズ中崎 (3 回)、健康ソムリエ会 (1 回)、市民サポートセンター明石 (1 回)、ゆずりは明石 (4 回)、魚住 17 号池水利組合 (2 回)、花時計 (5 回)、NPO ひまわり (3 回)、みつくす (2 回)、すたじおぼっち (1 回)、折鶴の会 (2 回)、宝塚 NPO センター (1 回)、さくら工房 (1 回)、ミュージックネット (1 回)、明石ケーブルテレビ (1 回)、明石市国際交流協会 (1 回)、はちどり人権塾 (2 回)、ともしび会 (1 回)、株式会社ソフィア (1 回)、ひなたぼっこ (1 回)、ため池清掃志隊 (1 回)、明石観光協会 (3 回)、人と化学をむすぶ会 (2 回)、

NPO 法人とも杖（1回）、動物と共生するまちづくりの会（1回）、あかし囲碁まつり（1回）、プレス and プレス（1回）、アロマボランティアラベンダー（1回）、風通信舎（1回）、関西青少年サナトリウム（1回）、個人（20回） ※順不同

(3) 市民活動名鑑の作成（おーるあかしプロジェクト）

- ・内 容：市民公募によりメンバーを結成し、明石市内の市民活動団体の新規発掘と、普及啓発を目的とした市民活動名鑑「明活」を作成しました。作成のプロセスで、市内のネットワーク組織や関係機関（明石市、明石市社会福祉協議会、あかねが丘学園、ボランティア連絡会、明石市文化団体連合会、明石市女性団体協議会、コープサポートセンター明石 等）の協力を得ることで、既存のネットワークの枠を越えた団体のつながりを広げる機会を提供しました。
- ・会議回数：9回
- ・掲載団体数：750団体（内、取材及び個別掲載195団体、一覧掲載555団体）
- ・発行部数：1500部
- ・価 格：540円（税込）

(4) セミナー・講座の開催

- ・内 容：市民活動団体のスキルアップを目的に、財団事務局長が講師を務めるほか、外部講師を招き、主催講座を開催しました。
- ・開催回数：4回

実施日	講座内容	参加人数	講師名
11月27日	広報セミナー	23名参加	蓑田 俊輔
12月1日	ホワイトボード・ミーティング	9名参加	水田 恵美
2月18日	NPO 法人のための会計勉強会	2団体参加	柏木 登起
3月26日	第1回助成金セミナー	15名参加	大島 一晃

(5) つながりサロンの開催

- ・内 容：市民同士のつながりを生み、主体性を促すためのサロンを開催しました。
- ・開催回数：12回（計64名参加）
毎月第3木曜日 18:30～20:30

4月～9月：財団事務所で開催

10月～：あかし男女共同参画センター・実習室で開催

(6) 市民活動ネットワーク明石の支援

- ・内 容：あかし市民活動団体協議会の解散後、様々な団体から市内の市民活動団体のネットワーク組織を新たに発足する相談を受け、当財団から情報提供やアドバイスが必要な事からサポートを行いました。
- ・会議回数：10回

3. 内部研修および行政職員等との研修

(1) 協働のまちづくり組織のあり方会議

- ・内 容：市民協働推進室と協働のまちづくり組織のあり方について勉強会を開催しました。
- ・回 数：7回

(2) ワークショップ研修

- ・内 容：明石コミュニティ創造協会のスタッフが持つべきスキルとして必要不可欠なファシリテーション力を高めるために、NPO法人シミズシーズのスタッフと合同の研修を実施しました。
- ・回 数：15回（東播磨県民局内「かこむ」で実施）

(3) 制度等勉強会

- ・内 容：テーマ型市民活動団体の相談業務に対応するために、NPO法人制度等の勉強会をシミズシーズのスタッフと合同で実施しました。
- ・回 数：19回（東播磨県民局内「かこむ」で実施）

4. 法人管理

- (1) 組織体制 2014(平成26)年3月31日現在
- | | |
|-----|------------|
| 評議員 | 桑原 功（非常勤） |
| | 小島 彰夫（非常勤） |
| | 山本 洋子（非常勤） |

理事長 高橋 嗣郎 (非常勤)
常務理事 澤井 康樹 (常勤)
理事 永野 潔 (非常勤)
監事 岸本 智洋 (非常勤)

事務局 事務局長 1人 スタッフ 7人

(2) 会議

[評議員会]

第4回	2013年5月28日	2012年度事業報告・決算の承認 定款変更の承認
第5回	2013年9月27日	監事の選任 (岸本 智洋/2013年10月1日就任)

第6回	2014年3月31日	2013年度事業計画・予算の報告
-----	------------	------------------

[理事会]

第5回	2013年5月14日	2012年度事業報告・決算の承認 評議員会の開催承認
第6回	2013年9月20日	評議員会の開催承認
第7回	2014年3月24日	2014年度事業計画・予算の承認 評議員会の開催承認

[事務局]

明石市市民協働推進室との定例連絡会	毎週金曜日 9:30～
財団スタッフミーティング	毎週1回